



Cloud Operator Days Tokyo 2023

運用の新時代 ~Effortless Operation~

開催のご案内

Cloud Operator Days Tokyo 2023 実行委員会 ver. 2023.04.07

<https://cloudopsdays.com/>

運用の新時代 ～Effortless Operation～

「運用の新時代 ～Effortless Operation～」をメインテーマに、運用者が日々取り組んでいる新しい挑戦、成功・失敗体験、得られたノウハウなどを分かち合いたいと思います。実運用における体験談の共有をお願いいたします。

多数のリソースを効率的に管理し、障害の早期発見・復旧をするために、監視やログ収集、トレンド分析などが必要です。クラウド運用の新しい時代においては、これらの作業も自動化や人工知能技術の活用によって、運用業務にかかる負荷を軽減し、エラーや障害の早期発見や対応を目指す。

・以下の様なトラックを考えておりますが、これに限らずイベント趣旨に沿った運用関連の内容であれば幅広くご応募いただけます。

- AIOps
- 運用苦労話(しくじり、トラシュー)
- 自動化(Dev/Ops, CI/CD, IaC)
- コスト管理
- OpenStack
- 監視・ログ・オブザーバビリティ
- パブリッククラウド運用(AWS, Azure, GCPなど)

<Cloud Operator Days Tokyoについて>

クラウドの運用者に焦点を当てた技術者向けの新しいテックイベントです。クラウドの運用者とは、クラウド基盤(IaaS、PaaS、CaaS、FaaS)を運用しているインフラエンジニアの方だけではなく、クラウド基盤上でアプリケーションを作成し、運用している人も含みます。オペレーションに関わる技術や悩み、解決策を発表、共有していくことで運用技術の発展やインフラ、アプリケーション運用に興味がある若手の教育、育成ができるイベントとして発展させていきたいと考えております。

昨年の第3回は70以上のオンラインセッション、及びワンダーライブイベントを行い、2000名以上の皆様にご参加いただきました。

<https://cloudopsdays.com/archive/2022/>

今年も開催はオンデマンドでのセッション配信、及びオンサイトでのクロージングイベント(オフライン開催)を計画しております。
(状況に応じて変更の可能性あります)

開催趣旨

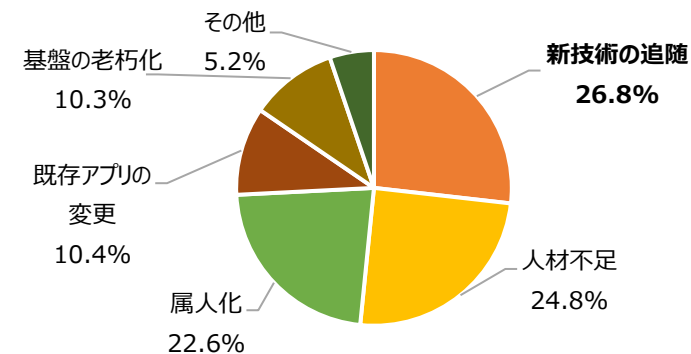
なぜ今「運用技術者」にスポットを当ててるのか？

クラウド基盤をシステムの構築と運用は表裏一体と言えますが、新技術や先端の事例を紹介することが多い技術記事や書籍、ドキュメント、そして技術イベント等で主に取り上げるテーマは、新しいエンジニアを取り込むという意味からも、どうしても構築寄りとなるのは仕方がないことでしょう。一方、エンタープライズITシステムの“一生”を考えると、そのライフタイムのほとんどは「運用」で占められます。本来なら、運用にまつわるノウハウこそ、多くのエンジニアが知りたい情報であることは明白でしょう。

そして、エンタープライズ分野においては、日々の安定動作はもちろん、不具合修正からインシデント対応、各種メンテナンスまで、運用技術者の手がける内容は多岐にわたります。これに個別のシステムの特異な事情が絡むことも多いため、ノウハウを外部と共有しにくく、また情報を出したくても外部の人にわかる形で情報を形にできないというジレンマがあります。そしてこうした「外からのわかりにくさ」は、運用者の業務評価の難しさにつながっています。また、失敗談や地味な苦労話を出す必要もあることから、事例を外部に晒すのは恥ずかしいといった心理も働くようです。

残念ながら、この状況をなんとかするための起死回生の一手なんてものは、そう都合良くは見つかりません。できることがあるとすれば、とにかく現場の状況をできるだけオープンに語り、語りかける場をより多く用意することに尽きるのではないのでしょうか？ オープンソースの開発と同様に、クラウド運用現場の「泥くさい」ノウハウをオープンにしていくことが、より多くのエンジニアが共に成長するための、実は近道になるのではないかと、そのためにはオープンソースの開発と同じやり方で、ソースコードの代わりに運用のノウハウをオープンにしていく活動が効果的であろうという目論見があります。

運用の課題を教えてください(複数選択可)
CODT2022視聴者アンケートより



連載

”運用者に光を”「Cloud Operator Days Tokyo 2021」の歩き方
<https://gihyo.jp/admin/serial/01/codt2021/>

開催概要

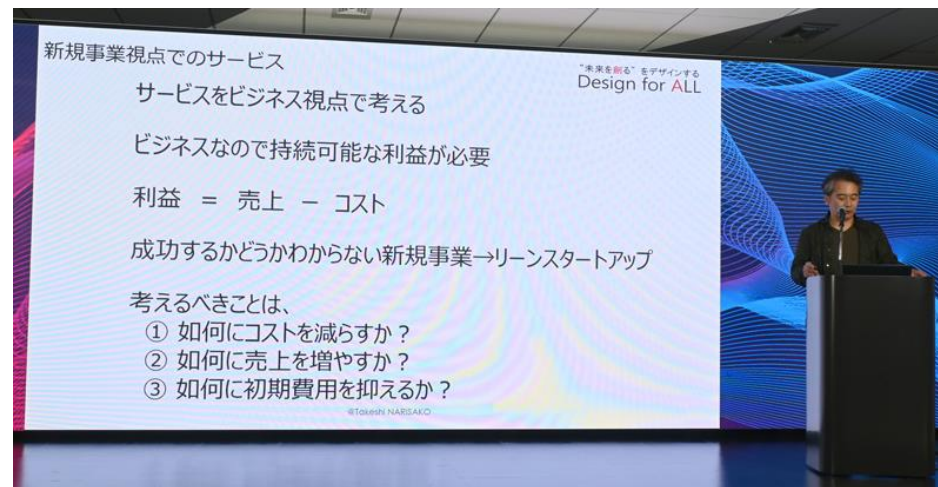
名称: Cloud Operator Days Tokyo 2023

テーマ: 運用の新時代 ~Effortless Operation~

主催: Cloud Operator Days Tokyo 2023 実行委員会

参加費: 無料(事前登録制)

視聴者数目標: 2,000名



2022年5月29日 プレイバントのキーノート「運用こそが利益の源泉」に登壇した成迫剛志氏(岐阜大学 客員教授 / Design for ALL Co-founder / 株式会社デンソー)

日程(開催形態):

- ・2023年7月下旬 プレイバント (オンライン・ライブ | イベント企画の紹介 | メディア参加対象)
- ・2023年8月第4週から約2週間 オンデマンド配信 (約60セッション | CFS/スポンサー/主催者企画セッション)
- ・2023年9月第3週 締めくくりの1日イベント (クロージングイベント | 輝けクラウドオペレーターアワード表彰式)
- ・2023年10月以降 アーカイブ配信

主催団体

Cloud Operator Days Tokyo 2023 実行委員会

委員長：長谷川 章博（AXLBIT株式会社）



委員：

井田 紗希子（New Relic株式会社）
伊藤 拓矢（レッドハット株式会社）
大岩 朗（ヤフー株式会社）
工藤 雄大（株式会社日立ソリューションズ）
五味 健太（東日本電信電話株式会社）
田口 裕真（東日本電信電話株式会社）
高嶋 秀輝（NTTアドバンステクノロジー株式会社）

谷野 光宏（LINE株式会社）
時國 真理子（東日本電信電話株式会社）
福岡 佳菜子（New Relic株式会社）
古川勇志郎（LINE株式会社）
水野 伸太郎（日本電信電話株式会社）
山口 卓朗（VMware Japan）
山下 祐生（レッドハット株式会社）

開催実績

	CODT2020 「クラウド運用のリアルに迫る」	CODT2021 「運用者に光を」
事前登録者数	1,422名	1,908名
視聴者数	1,387名（疑似ライブ配信視聴）	1,821名（オンデマンド配信期間視聴） 408名（8/27 輝けクラウドオペレーターアワード表彰式視聴）
セッション数	43セッション	54セッション
スポンサー数	13社	19社
メイントラック	アプリケーション開発 トラブルシューティング 大規模運用 OpenStack 組織論	大規模システム運用 社内基盤(情シス、開発環境) 運用自動化(Dev/Ops、CI/CD) 運用苦労話(しくじり、トラシュー) Cloud Native Telecom Operator Meetup (CNTOM)
人気コンテンツ	<ul style="list-style-type: none">・楽天モバイル「完全仮想化の裏側」・KDDI流の「アジャイル開発」の取り組みと事例・Yahoo! JAPANの月800億ページビューを支えるIaaS基盤の舞台裏・最近あまり聞かなくなかったNFVの話・しくじり先生 on AWS・クラウドインフラトラブルシューティングのすゝめ・Infrastructure as Codeの静的テスト戦略	<ul style="list-style-type: none">・SREのはじめ方NTTドコモ サービスデザイン部”RAFTEL”が実践するサービスレベルの計測と可視化・超PayPay祭による高負荷にショッピングはどのように立ち向かったか・新入社員が9ヶ月でクラウド運用の自動化システムを作ってみた・NFVでクラウドネイティブに変わる電話会社の運用(KDDI編)・これからはじめるKubernetes運用 - OpenShiftの存在意義 -・Yahoo! JAPANのIaaSを支えるKubernetesクラスタのアップデート苦労話
開催報告書	https://cloudopsdays.com/wp-content/uploads/2020/09/CODT2020_report.pdf	https://cloudopsdays.com/wp-content/uploads/2021/09/CODT2021_report_final.pdf

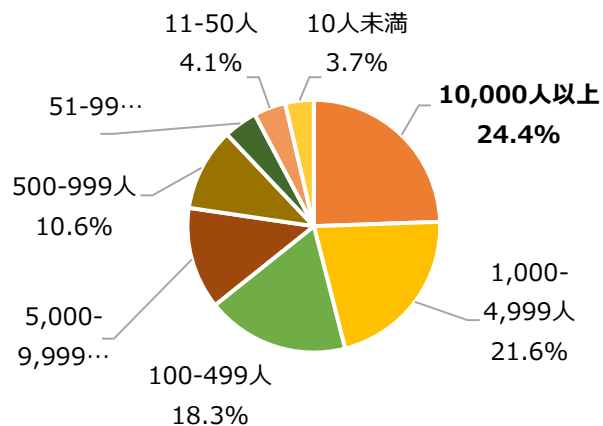
開催実績

	CODT2022 「運用者に光を！～変革への挑戦～」		CODT2023 「Unplugged」 2023.02.14
事前登録者数	2,039名	事前登録者数	144名
視聴者数	1,846名（オンデマンド配信期間視聴者） 501名（7/27 輝けクラウドオペレーターアワード表彰式視聴）	当日参加	96名(完全オフライン)
セッション数	71セッション	開催趣旨	完全オフライン運用エンジニア座談会開催。従来のカンファレンスと異なる、フィッシュボール形式でエンジニアの生の声をディスカッション。登壇者がGiveするだけではなく、議論を通じてTakeすることで互いに情報を深める絶好の機会！Unpluggedの名前通り、配信などは一切行わないから話せる現場トーク。その場にいる人しか味わえない話がここで！
スポンサー数	24社	セッション内容	大規模基盤でいま起こっている障害、そして戦い方 運用人事系(内製vs委託、採用、リスクリング デプロイ(アジャイルLean・CI/CD、ライフサイクル) 監視・ログ(ツール、コストなど) 技術獲得戦略(決裁、判断プロセス) ベアメタル(要る要らない、結局どうなの) リモートxトラシュー(ツール、連絡体制など) アジャイル・チーム(運用のチーム、運用のアジャイル) 最新技術座談会(最近入れたネタ、いい話、だめな話
メイントラック	大規模システム運用 運用苦労話(しくじり、トラシュー) 運用自動化(Dev/Ops、CI/CD) 社内基盤(情シス、開発環境) サービス・アプリケーション運用 製品・技術トレンド Cloud CoE	議事メモ	https://etherpad.opendev.org/p/JP-CODT-2023-Unplugged
人気コンテンツ	・OpenStack NFV基盤のバージョンアップと運用改善を内製対応した話(KDDI編) ・クレジットカード会社のGameday、あるいはKubernetesに”Gremlin”を解き放った話 ・Yahoo! JAPAN プライベートクラウドにおける事故防止の取り組みの変遷 ・効果的なアラートを再考する [メモリ使用率が80%になりました。] んで、どうすればいいん？ ・国内最大級のコンテナ型データセンタをイチから作ってみた～クラウドの先にあるモノ～		
開催報告書	https://cloudopsdays.com/wp-content/uploads/2022/09/CODT2022-report-final.pdf		

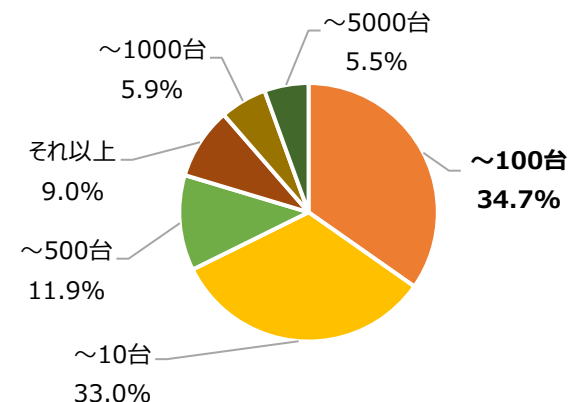
参加対象者

インフラエンジニア 約60% | ソフトウェア開発エンジニア 約20%
マネージャー、グループリーダー、その他技術職 約20%

所属する企業の従業員数を選択してください

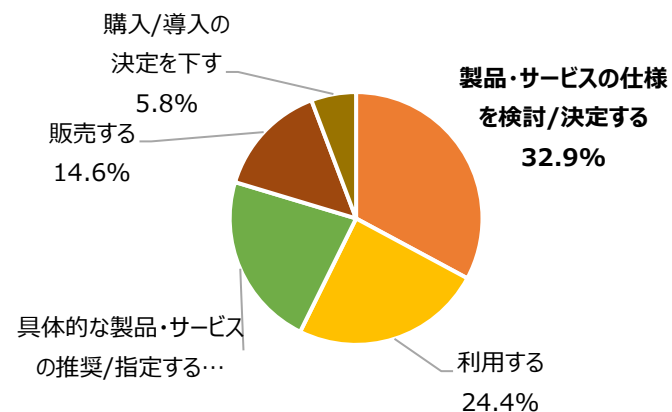


現在のプロジェクトで運用中のクラウドの規模(ノード数)を選択してください

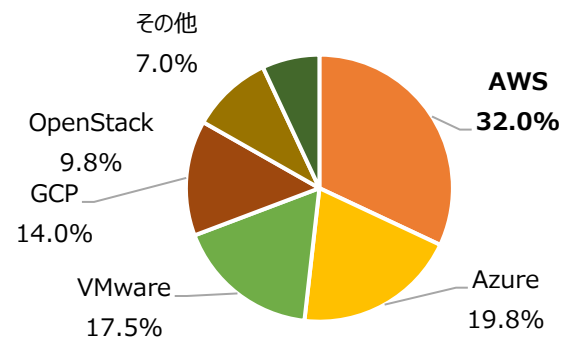


2022年視聴者アンケートより

ご自身の関与度で最も近いものを選択してください



運用/利用しているクラウド基盤を選択してください(複数選択可)



企画内容

4月ー5月 Call for Speakers (CFS)

- クラウド運用者の実体験をテーマにして公募

Call for Sponsors (協賛募集)

6月ー7月 プログラム構成

- CFS審査・選定・通知
- 主催者企画検討
- スポンサーセッション詳細提出
- トラック構成・セッション割

スポンサー申込一次締切 (6月下旬)

7月下旬

1日プレイイベント開催

- メディア参加対象

- 狙い
- イベント企画の概要・見どころ紹介
 - 集客施策
 - メディア連携施策(告知強化)



8月ー9月 オンデマンド配信期間

- 8月下旬から約2週間のオンデマンド配信
- 約60セッション同時配信(CFS/主催企画/スポンサー)

9月中旬 締めくくりの1日クロージングイベント

- 完全オフライン開催
- 基調講演、パネルディスカッション
- 優れたオンデマンドセッションを表彰する
「輝け！クラウドオペレーターアワード表彰式」
- スポンサー展示/Lightning Talk
- 懇親会

9月-10月 オンデマンドアーカイブ配信



輝けクラウドオペレーターアワード

オンデマンド配信期間終了後、9月中旬にの締めくCODT2023のくりとして1日のオフラインイベントを行われる予定。著名なグローバルゲストによる基調講演、オペレーターのパネルセッション、そしてオンデマンドで配信された各セッションの中から優れたセッションを表彰する「輝け！クラウドオペレーターアワード」授賞式が開催されます。

オンデマンド配信期間中、各セッションアンケートで視聴者にアワード対象セッションの推薦を受け、審査委員会にて受賞セッションを決定いたします。

「輝け！クラウドオペレーターアワード」授賞式の様子



受賞者の声

Jayoung Oh(ジャヨン・オ), Rakuten Mobile

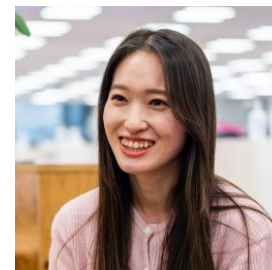
このような賞を受賞できて光栄です。今まで社外でプレゼンテーションをした経験はありませんでしたが、今回、機会をいただいたので、新しいチャレンジをしてみようと思い、現在行っているクラウドプラットフォーム運用の自動化について発表しました。発表の準備段階からチームのメンバーに支援いただいたことで「ヤングオペレーター賞」を受賞できました。チームの皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいです！

2021年12月23日

楽天モバイルのエンジニアが「Cloud Operator Days Tokyo 2021」で「ヤングオペレーター賞」を受賞！

クラウドプラットフォームの開発プロセスを自動化する施策を発表しました

https://corp.mobile.rakuten.co.jp/blog/2021/1223_01/



スポンサーレベルとベネフィット

	ダイヤモンド	プラチナ	ゴールド	シルバー
協賛金額（消費税別）	2,000,000円	800,000円	400,000円	100,000円
過去のOSDT・CODTのスポンサー企業に上記の協賛金額に対して10%の割引を提供します				
リードデータ （事前登録者データ）	○（全件 2,000件想定）	○（御社への情報提供に許諾いただく登録者に限定 100-200件想定）	○（御社への情報提供に許諾いただく登録者に限定 100-200件想定）	—
講演セッション枠 （持込動画） 8月下旬から2週間のオンデマンド配信	○20分 x 2 セッション （視聴トラッキングデータ提供）	○20分 x 1 セッション （視聴トラッキングデータ提供）	○20分（1 セッション） （視聴トラッキングデータ提供）	—
CM動画 （持込動画） 9月中旬クロージングイベント会場にて	1分 の動画コンテンツを ご提供ください	30秒 の動画コンテンツを ご提供ください	—	—
リアル展示ブース + LT講演枠 9月中旬クロージングイベント会場にて	○	○	—	—
ロゴ掲載 （告知サイト・配信プラットフォーム・ クロージングイベント会場）	○	○	○	○
セッション動画のオンデマンド アーカイブ （開催後；期間限定）	○	○	○	—

提供するリードデータ：氏名、勤務先メールアドレス、勤務先電話番号、勤務先所属部署、勤務先役職

Diamond



Platinum



Gold



Silver



Tool Sponsor





Cloud Operator Days Tokyo 2022
オンデマンドセッション



Cloud Operator Days Tokyo 2022
クロージングイベント



Cloud Operator Days Tokyo 2022
プレイイベント



Cloud Operator Days Tokyo 2021
オンデマンドセッション



Cloud Operator Days Tokyo 2021
ライブイベント



Cloud Operator Days Tokyo 2020

CODT 2020-2022 セッションアーカイブ

お申込みとお問い合わせ

申込方法

<https://forms.gle/YFneuKiRt4Pz6TLb7>

CODT2023協賛申込フォームよりお申込みください。

一次申込締切

2023年6月26日(月) 締切に間に合わない場合は別途ご相談ください。

協賛金のご請求

申し込み受付後、ご請求書を電子データで送付させていただきます。(原本をご希望の場合はお知らせください。)請求書発行月の翌月末にご入金を頂けますようお願い致します。尚、振り込み期日等希望がございましたら、事前にご相談ください。

その他ご質問等ございましたら、下記連絡先までご連絡ください。

Cloud Operator Days Tokyo 2023 運営事務局

株式会社イーサイド内

担当: イベント事業部 宮本、西島、Scott Macdonald

Tel: 03-6435-8789 Fax: 03-6435-8790

email: codt2023-office@e-side.co.jp

協賛規約

■規約の履行

本イベントにご協賛いただく企業・団体等(以下協賛者という)は、以下に記載する各規定に記載する各規定を遵守しなくてはなりません。これらに違反した場合、もしくは第三者への迷惑行為、公序良俗に反する行為があると主催者が判断した場合、主催者は協賛申込の拒否、協賛契約の解約、講演の中止・変更の指示を、それぞれ行うことができます。その際、協賛者から事前に支払われた費用の返還は行いません。また、協賛契約の解約、講演の中止・変更によって生じた協賛者および関係者の損害について、主催者は一切補償しないと、主催者に損害があった場合には、協賛者にその全額を賠償していただきます。

■協賛資格

協賛者は、主催者が定める本イベントの主旨に沿う製品、サービス等を提供する企業・団体その他の事業体に限定され、主催者は製品、サービス等が、本イベント主旨に合致するか否かを決定する権利を有します。

■協賛契約の成立

協賛者が協賛申込書を提出し、主催者がそれを受理した日をもって、協賛契約の成立とします。

■協賛料金の支払

協賛者は、請求書に記載された期限までに、請求された協賛料全額を主催者の指定する銀行口座へ振り込むものとします。支払期日までに協賛料金のお振り込みが確認できない場合は、協賛契約は解約となります。この際に、主催者に損害が発生した場合は、協賛者はその全損害を賠償するものとします。

■協賛契約の解約

協賛者が協賛契約成立後にその全部または一部を解約する場合は、必ず文書にて行わなければなりません。その際、協賛者には下記の解約料をお支払いいただきます。

- ・2023年6月26日(月)までは協賛料金の30%、
- ・2023年6月27日(火)以降は協賛料全額をお支払いいただきます。

解約料を超える損害が主催者に発生する場合には、別途その損害を賠償していただきます。・解約料は、請求書に記載された期限までに指定銀行口座へお振り込みください。

■転貸の禁止

協賛者は主催者の許可なく、講演枠、広告枠、出展ブースの全部または一部を他社へ譲渡、貸与等(譲渡料、貸与料等の有無を問わず)を行うことはできません。

■イベントの中止

主催者は、都合により、いつでもイベントを中止することができるものとします。中止になった際は、主催者は協賛者に対して、開催残余日数等を基準として、主催者が相当と認める額を払い戻しますが、それ以外に関しては、一切の責任を負いません。主催者の都合以外の理由によって、イベントの全部または一部が中止になった場合(主催者が中止せざるを得ないと判断した場合を含みます)、主催者は、協賛者に対し、一切の責任を負いません。

■損害賠償責任

協賛者及びその関係者が、会場使用にともなう人身及び財物の傷害、損害等を受けた場合、主催者は、理由の如何を問わず、一切の責任を負いません。また、協賛者は、その従業員、代理人、関係者の故意、過失または無過失によって、会場の施設及びその設備等や、第三者の人身・財物に与えた一切の損害について、ただちにその損害を賠償しなければなりません。主催者が、これらの損害の賠償請求を受けた場合、協賛者は、自らの責任で、その支払いを行うとともに、主催者に損害が生じた場合には、弁護士に支払った着手金・報酬金等も含め、その全額を速やかに、主催者に支払うものとします。主催者は本イベントにおける一切の制作物の中に生じた誤字、脱字等に関する責任を負わないものとします。

■個人情報の取り扱い

協賛者は、本イベントを通じて個人情報を取得する場合、個人情報保護法および関連法令を遵守し、適法かつ適切な取得をおこなう必要があります。利用目的は必ず公表・通知し、その範囲内で利用しなければなりません。また取得した個人情報は、協賛者が責任をもって管理・運用するものとします。万一、来場者に損害が生じた場合、協賛者が全責任を負うとともに、自ら責任を持って紛争を解決するものとします。

※主催者の個人情報取得に関する説明は、下記をご参照ください。

Cloud Operator Days Tokyo プライバシーポリシー

<https://cloudopsdays.com/privacy-policy/>

なお、運営等の委託会社には業務上の理由で協賛者の情報を提供いたしますが、ご了承ください。